

○二本松電氣株式會社 は發電所を同郡鹽澤村に置き日に隆なり
◎本宮町

福島市を南よ去る九里四町二本松町を南に隔つ二里二十三町二本松町に亞く繁榮の地にして人口八千に近く商業段盛の地とす

○安達太良神社

本宮町の産土神郷社安達太良神社は菅森山と稱する市街の西北端に聳わし一丘上に在り風景佳絶社殿は久安二年の建築なりしも文化三年祝融の災に罹り同十一年再建せらる

○愛宕神社

本宮町字館の越にあり社格小社元祿二年富望山天神堂より遷座せ

しと云ふ

○鹽波山輪寺

華藏院と稱す本宮町の南端字山田に在り眺望佳絶老櫻あり遠近に

聞ゆ

後小松天皇の御宇 聖化德行房菩薩法師京より東行し應永七年此

地に錫を駐む

天臺宗にして本山は近江國坂本村延曆寺、本尊は行基菩薩の作釋

迦如來、阿難尊者、迦葉尊者を安置す

○株式會社本宮銀行 明治二十五年六の創立行務盛況なり

○本宮電氣株式會社 發電所を同郡玉井村に置き業務盛大なり

○福島縣種畜場

安達郡高川村大字石筵に在り福島市を西南に去る十四里七町本宮町より若松市に到る沿道にして本宮町より西方約四里郡山町を経て汽車の使あり

明治三十五年の設置に係り馬格の改良發達を目的とせり種牡馬は數種を飼育し民間の希望により交尾料を徴収し各地にて交尾せしめ其成績良好なり種畜場に於ては已に貳千五六百頭の仔馬を出すに至れりと云ふ

○高玉鑛山

本鑛は金銀鑛にして同じく高川村にあり石筵川を隔て、高玉本村

に對し探鑛場は大字大平の山腹にあり熱海驛を距る凡そ一里探堀面積三萬五千坪なりと云ふ

○熱海温泉

高川村大字高玉字熱海にあり微温の故を以て人工温浴を設け入浴に供す諸病に適すと云ふ
鑛泉 無透色明にして微に硫化水素の臭氣を放ち味鹹にして少く刺戟す反應中性なれども煮沸すれば微弱の亞爾加里性を呈す其成分左の如し

- 硫化水素。
- 炭酸。
- 格魯兒。
- 硫酸。
- 磷酸。
- 珪酸。
- 石灰那
- 篤倫。
- 加里。

○嶽温泉 (一名岳下温泉又深堀温泉)

二本松町より西方二里嶽下村大字永田字櫟平に在り安達太良山の中腹に位す

泉源は湧口四箇、熱湯、鐵湯、黑湯、川端湯、と稱す此四湯を合して深堀に導くものなり

鑛泉は無色透明にして酸性反應を呈し微に硫化水素の臭氣を放ち斂性の酸味あり其成分左に

硫化水素、格魯兒、硫酸、珪酸、鐵、礬土、石灰、加里那篤倫

○主治 火傷、創傷、腫物、胃弱、疥癬、虫毒

○上館下館址

安達郡小濱町に在り天正中伊達輝宗父子の居る所輝宗上館に居り政宗下館に居ると云ふ

○石井清水

安達郡青田村に在り方八寸許土人呼て一盃清水と號す泉源洋々其味清冽比なしと稱す古歌所謂石井の水なるもの是なり(本宮町を西へ凡壹里)

名寄

好 忠

美草生し安積の石井夏くれて

天照るかけの過かてにする

○糠塚 (本宮町の東北凡壹里)

安達郡和木澤村大字糠澤糠澤池と唱ふる池中に在り土人の口碑に
あどの尊みことの後糠依姫きさきねかよりひめの陵りようなりと傳ふ今考ふへらす

〔相生集あひほひしうに舊事記饒田命阿刀連祖姓氏錄阿刀宿禰石上朝臣同祖云々を援き阿刀の氏族の古墳なるへしと言へり或は曰く敏達帝の女に糠代比賣命あり或は其陵なるやも知るへからすと〕

○人取橋古戰場 (本宮町の西凡壹里)

安達郡青田村青田川の邊ほとりに在り「本宮より若松に通する道路中妃橋あり人取橋と稱す長凡三間幅九尺」天正十六年四月伊達氏と葦名、佐竹二氏大に此に戦ふ世に所謂仙道人取橋の戦たかひこ是なり橋東

松林の中一堆すいの塚あり功士壇と戰す天正十三年の役伊達氏の臣茂庭左月以下百餘人の戦死者を埋葬する所と云ふ左月勇戦の事奥場軍秘録に見ゆ

○縣社隱津島神社

安達郡木幡村木幡山に在り二本松町を東に去る四里福島市を東南に去る五里半元隱津島辨財天と稱す明治初年神佛混淆を廢せられ嚴島神社と改稱し後明治三十五年四月社號を復舊して隱津島神社とす瀛津島姫命を祀る延喜神名帳安積郡隱津島神社即ち是なり

(大日本史神祇志隱津島神社今在安達郡内木幡村木幡山稱辨財天蓋祀瀛津島姫命延喜制列小社) 明治維新前神主並に別當治陸寺あ

り相傳あひつたふ源みなもと軍しやうぐん頼よりよし義よし父子東征かつた薊田たけやぶ嶽だけ敗やぶれ脱のれて此こゝに至いたり勝かちを祈いのる追賊ついで跡あと仰あがり山さん上じやうを見みれば満山まんざんの樹木じゆりく急たらまち變へんして旌旗せいきなる安倍あべ頼時よりとき之を聞き畏おそれ降こうを乞こふ亂平らんたひらくの後のち頼義よりよし之を後冷泉帝ごれんせんていに奏そうす帝てい叡感いひかんあり山號さんごうを木幡山こはたやまと名なづけ弘隆寺こうりゅうじ三代實錄陸奥國安積郡弘隆寺弘隆寺爲を天臺別院てんたいべつゐんを改あらためて治陸寺じろくじと稱しし神寶しんぼう戸田とだを授さづけ勅額ちよくたいを賜たまふ一寺名蓋いし陸奥を平治するの義ぎに取とると云ふ事は社記及安達絹相生集等そしやいしゆめんぎえに見みゆ勅額ちよくたい今尙存いましやうぞんす其社城面積そのしやいしゆめん二十六町餘にじゅうろくちやうご喬木森立殿宇宏麗僻地きようれいひきち多く見みさる所ところなり又境内古碑こひ二基ふたきあり義家建よしかたる所ところと傳つたふ

○ 畠山義繼墓はたけやまよしつぐはか

二本松町の東南壹里半安達郡石井村平石に在り墓碑高二尺四寸廣九寸五分文字讀む可らす義繼は畠山高國五世の孫天正年中二本松城に居り數々伊達輝宗の攻むる所となり伴り降りて躬壯士數騎と與に其陣に至る相見て禮畢り輝宗送て階下に到る壯士左右に起り執て以て去る變倉卒に發し一陣狼狽す輝宗の子政宗出て、野外に略す報を聞て來り救ふ輝宗大呼して曰く阿梵の父の故を以て敵を縦すこと勿れど政宗追躡銃を放つ義繼遂に輝宗を殺し自及す阿梵は政宗の小字なり事は天正十四年に在り此地即ち其相闘ふの處なり俗呼て生害場と曰ふ

◎安達ヶ原

二本松町を東に距る二十町安達郡大平村に在り安達の原は古へ吾
田太良真弓白真弓安達駒を以て名あり相傳ふ此地古へ良弓駿馬を
出し朝貢に充てたりと又

●黒塚 と稱するものあり平兼盛の詠を以て其名世は著る奥羽觀
蹟聞老志隨變紀程並に記する處あり左に

安達原上有二堆塚、那智東光坊阿闍梨祐慶者、料數假宿于此地
主婦緣焉、深更采新山中、祐慶怪之、時其亡而、其房中、積骸
如山、驚而出走、迫之急、祐慶以法術脫去、其塚猶存、居宅跡
也聞老志晚安達原、出驛右折、取路蒼草、路傍沮洳、荷花盛聞
涉逢隈川、行數百步、喬木陰森、怪巖盤踞、名曰黒塚、側有古

寺、老尼迎客說舊事、曰昔有夜叉啖人、行旅過此、莫不殞命、
 一夕高僧祐慶投宿、以觀世音威德調伏殺之、埋尸巖下、今寺中
 所安觀世音像即是也、因烹兒鍋、屠人刀、種々遺物示之、爲發
 一嘆、

拾遺集

平 兼 盛

みらの國名どりの郡黒塚と云ふ所に重元か妹あまたありと聞つ
 けていてつかはしける

陸奥の安達の原の黒塚に

鬼こもれりと聞くは誠か

因に 安達の原の鬼女と稱せしは安倍頼時の妻貞任、宗任の母に

して「岩井の前」と稱し安倍頼時朝廷に弓を引き勅令を蒙り（人皇七十代後冷泉帝の御代）源頼義之を討伐し後其嫡男八幡太郎義家父に代り頼時を亡したり「岩手の前」再ひ兵を擧ん走しにて軍備の爲め人を殺し金銭を貯蓄しつゝあり

又時の帝の皇弟環の宮を擁し奉り新帝柵立を謀るに女官匣の内侍なるものを欺き吉田神社に参詣の途次匣をして環の宮を擁せしめ身を隠くさしめたり

之れ貞任の計略なり
岩手の前大に勢を得たりと雖も環の宮は啞なりければ療養に苦心の未昔し唐土の名醫之を止聲病と名つけ其藥法は胎兒を取り

其血液を服せしめば今治すとの妄説を信じ路に迷ひ來り泊する
 孕婦を殺害し胎元の血液を絞り取り服用せしめんと欲したるに
 啞の環の君は啞にあらざるのみならず義家の男（八ッ若丸）又女
 官匣は女官にあらず義家の弟新羅三郎義光美男の故を以て女官
 に扮したるもの岩手の驚き一方ならず再ひ兵を擧ぐるの策盡
 き無念千萬憤怒の髮逆立て、叫びつゝ身を躍らすも及ばず遂に
 自殺すと云ふ

福島縣名勝誌第一編終

福島縣立第一高等學校

福島縣立第一高等學校
編輯人 長澤慶治
發行人 青野儀助
印刷所 竹内傳藏
發行所 博向堂

大正二年十月三十日印刷
大正二年十一月一日發行

〔定價金貳拾五錢〕

編輯人 長澤慶治
福島縣福島市本町拾番地

發行人 青野儀助
同縣福島市陸橋町廿八番地

印刷人 竹内傳藏
福島市上町五十二番地

印刷所 竹内活版舍
福島市上町五十二番地

發行所 博向堂
福島縣福島市本町拾番地

谷 本 壹 百 萬 圓



露光量違いの為重複撮影

電話 三二五
振替口座 東京 五三三八

東北支部

福島市榮町停車場通

萬歳生命保險株式會社

本店 東京市日本橋區本材木町

- ◎當會社、相互株式兩組織ノ長所ヲ折衷シタ
- ル最善美ノ組織也
- ◎當會社ノ保險料ハ最低廉ニシテ契約者擁護
- 上幾多優越ノ特色ヲ有ス
- ◎當會社ハ穩健ノ進歩ト實質親切ナル營業ニ
- 依リ斯業ノ真面目ヲ發揮セシコトヲ期ス

養老 優先利益配當附
自動的契約持續法
方法契約増進法
等新傑出ノ特
保險 長ヲ有ス

教育 出生即日ヨリ
身體無診検査
直ニ契約シ得
ベキ子女學資
保險 婚費貯積法

他に比類なき最も有利なる三重
利益提供の福徳保險の新設

資本金壹百萬圓

福島市大町



株式會社 第一百七銀行

電話 一〇七
支配人席四二七

積立金四拾貳萬五千圓

保原支店 電話七番
二本松支店 電話六番
川俣支店 電話一七番
白河支店 電話二番
郡山支店 電話一六九番
棚倉支店 電話一〇七番
飯坂支店 電話一〇七番
坂下派出所 電話四一
小高派出所 電話三七番

電話 三二五
振替口座 東京 五三四八

東北支部

福島市榮町停車場通

萬歳生命保險株式會社

本店 東京市日本橋區本材木町

- ◎當會社ハ相互株式兩組織ノ長所ヲ折衷シタ
- ル最善美ノ組織也
- ◎當會社ノ保險料ハ最低廉ニシテ契約者擁護
- 上幾多優越ノ特色ヲ有ス
- ◎當會社ハ穩健ノ進歩ト質實親切ナル營業ニ
- 依リ斯業ノ真面目ヲ發揮セシコトヲ期ス

養老 優先利益配當附
白働的契約持續
方法契約増進法
等斬新傑出ノ特
保險 長ヲ有ス

教育 出生即日ヨリ
身体無診検査
直ニ契約シ得
ベキ子女學資

他に比類なき最も有利なる三重
利益提供の福徳保險の新設

資本金壹百萬圓

福島市大町



株式會社 第一百七銀行

電話 一〇七
支配人席四二七

積立金四拾貳萬五千圓

保原支店 電話七番
二本松支店 電話六番
川俣支店 電話七番
白河支店 電話二番
郡山支店 電話一六九番
棚倉支店 電話一〇七番
飯坂支店 電話一〇七番
坂下派出所 電話四一
小高派出所 電話三七番

株式會社
福島商業銀行



諸御預金・貸出金・其他
銀行一般ノ業務確實
御便利ニ取扱申候

本店	福島市本町	電話四五五七
支店	若伊石派	電話二四三
	松達川	電話一〇一
	馬場郡	電話二一〇
	桑折川	電話一〇七
	出所	電話七〇
貯蓄部	大沼郡	電話一〇七
代理店	高田町	電話七〇
設置候	各地	



株式會社

安田銀行

資本金壹千萬圓(拂込済)
積立金六拾萬圓

銀行一般ノ業務確實ニ
御取扱可申候

福島市	電話四五四二
福島支店	電話四六番
郡山支店	電話三番
中村支店	電話二番
出張所	桑折 白河
	電話六番 電話四番
	三春 須賀川
	電話三番 電話六番

諸御預金、貸出金其他確實
便利ニ御取扱可申候

福島市字西町



株式
會社

福島銀行

電話長三三四番

頭取 吉野周太郎

信夫郡野田村

八島田出張所

電話長四三二番

代理店

福島市荒町

山田友八

電話四〇五番

福島市置賜町

三瓶五郎

四

諸預金貸付金爲替事務手形割引

資 五

本 拾 萬

金 圓



株式
會社

岩代銀行

福島市字大町

電話一五六〇番
二三四三番

一般ノ銀行業誠實ニ取扱申候

五

株式會社
第七銀行



銀行一種特別
業務取扱御
實確務業般一行銀
金預置据テシト業種特
候申可扱取御ニ利便

本店

東京市京橋區元數寄屋町
一丁目二番地

出張所

福島市榮町二十一番地

共榮貯金株式會社
福島支店

福島市大町五十八番地

電話長六四一番

不動産抵當金貸付及代理貸附
現金受託(利率ハ精々相働キ可申候)
財産ノ管理及賃料金ノ取立

福島市字大町十二番地

信 福島信託株式會社

電話長二三番 電略(シン)
振替貯金口座二〇六八三番

土地建物諸株公債ノ賣買周旋
生命火災保險ノ事務取扱
農工銀行ヨリ借入ノ際ノ舊債立替

福島縣伊達郡保原町



奥羽電気株式會社

電零 才ウ

電話長一五番

不動産抵當金貸付及代理貸附
現金受託(利率ハ精々相働キ可申候)
財産ノ管理及賃料金ノ取立

福島市字大町十二番地

信 福島信託株式會社

電話長三三番 電略(シン)
振替貯金口座二〇六八三番

土地建物諸株公債ノ賣買周旋
生命火災保險ノ事務取扱
農工銀行ヨリ借入ノ際ノ舊債立替



福島縣伊達郡保原町

奥羽電気株式會社

電 零 才 ウ

電話 長一五番

帽子洋傘靴鞣洋品各種
 和洋文房具度量衡器類
 最新式蓄音器特約販賣
 大内式計數器製造元

伊達郡保原町

東洋蓄音器株式會社
 福島縣總代理店



木村商店

電話二四番電略〇キ
 振替東京一九三九二番

株式會社 現物賣買

立保原用達社

信託業一般

有價證券 賣買株式會社

貯金會代理部

福島縣保原町五丁目十四番地

栗原安治郎商店

電話五十五番電略(クリ)
 振替口座東京二〇三九九番

福島縣伊達郡保原町

登

大日本輸出羽二重株式會社

電話八番電略ハフ

横濱市南仲通二丁目二十四番地



商

標

同 横濱出張店

電話一六六六番電略ホシ

諸新聞雜誌

精文堂

打揚煙火 梅津峰隆

痔の妙藥本舖

岩代保原町

中外商業新報

意見……は穩健着實にして公明正大

記事……は正確敏速にして趣味豊富

廣告……は此新聞を離れて効果渺し

見本……は御申越次第直ちに進呈す

東京日本橋區北島一丁目
中外商業新報社
振替東京五五五

岩代嶽温泉
内湯
旅館
檜物屋支店

本店 二本松本町
電話三十五番

百貨誠實迅速ヲ旨トシ
御取扱可申候

岩代庭坂



運送店

庭坂停車場構内

萱場

風あり

吉田善太郎

名産

味の

内川屋

右精良品ヲ取揃へ發賣仕候

339
315

諸漆器
指物
佛具類

福島縣福島市本町

草野漆器店

電話一六一番

會

和洋紙
問屋

福島市北町四十八番

半澤喜右衛門

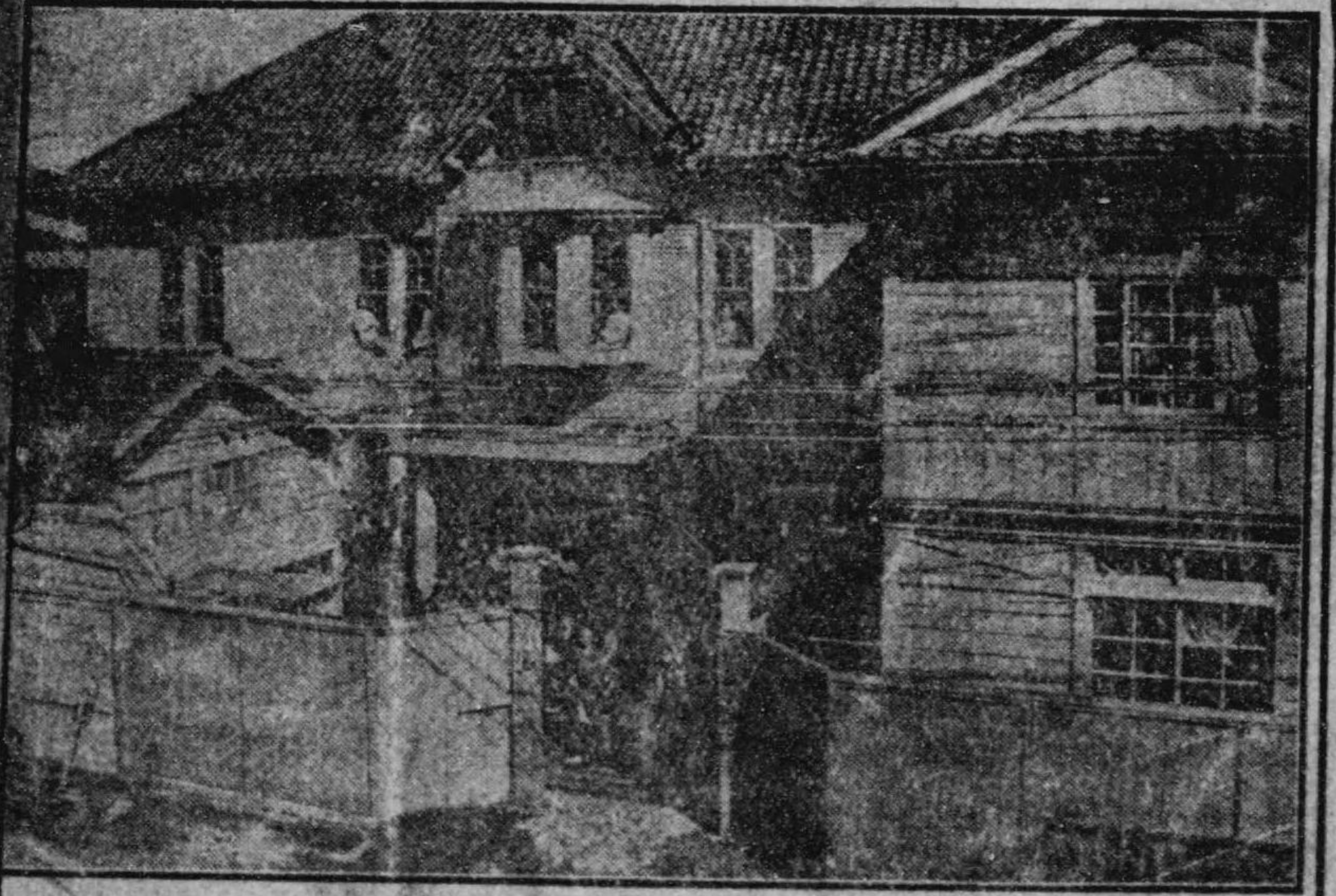
電話長四八番電略 ヤマタ
振替口座東京二〇七九六番

內科
外科
眼科

福島市大町

佐藤醫院

電話六十八番



新築落成

339
315

終